

報告事項イ

児童虐待に関する行政説明会の概要について

児童虐待に関する行政説明会の概要について、別紙のとおり報告します。

令和2年2月6日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 児童虐待に関する行政説明会の概要について

令和2年2月6日  
いじめ・不登校総合対策センター

児童虐待が社会的に大きな課題となっている中、文部科学省の「虐待対応の手引き」及び「学校現場における虐待防止に関する研修教材」の策定を受け、この度「児童虐待の早期発見・早期対応のための虐待対応マニュアル」を策定し、教育関係者、虐待対応関係機関職員等を対象に行政説明会を開催しました。

### 1 目的

この度策定した「児童虐待の早期発見・早期対応のための虐待対応マニュアル」に基づき、学校等における対応の流れや組織的な対応方法、児童虐待が子どもに及ぼす影響や虐待防止に関する研修の在り方について説明し、学校等に求められる児童虐待の早期発見や適切な対応につなげる。

### 2 日時 令和2年2月4日(火) 午後1時から午後4時30分

### 3 会場 琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」多目的ホール

### 4 参加者 169名

- (1) 教育関係者（スクールソーシャルワーカーを含む）147名  
小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校、専修学校教職員112名  
市町村教育委員会職員21名 県教育委員会事務局職員14名
- (2) 関係機関職員22名  
(市町村虐待対応担当課、知事部局関係課、児童相談所、警察関係者等)

### 5 主な内容

#### (1) 県教育委員会による説明「児童虐待の早期発見・早期対応について」

説明者：いじめ・不登校総合対策センター指導主事

- ・学校の役割（虐待の早期発見、通告、関係機関への協力、虐待防止のための啓発）
- ・対応に係る校内体制（的確な判断、組織対応、記録の重要性）
- ・通告の捉え方：確証がなくても疑いがあれば通告する  
通告により子どもと保護者の双方を救う

#### (2) 講演「児童虐待が子どもに及ぼす影響」 講師：鳥取大学医学部教授 前垣義弘氏

- ・多様な困難を抱えている子どもがたくさんいるが周りから見えにくくなっている
- ・虐待は、脳の発育・成熟に影響し、その影響は成人になっても続く場合がある
- ・機関連携で子どもを守り、家族と子どもを支える必要がある

#### (3) 講演「学校及び教職員の適切な虐待対応」

##### 演習「児童虐待対応に係るロールプレイ」

講師：立命館大学産業社会学部教授 野田正人氏

- ・通告のタイミング、聴き取りの実施方法、通告後の対応、情報元を明らかにしないことなど、法や通知に基づいた適切な対応
- ・要保護児童対策地域協議会の目的や活用
- ・学校現場を想定したロールプレイングによる研修の実際

### 6 参加者の感想

- ・虐待が疑われるケースにおいて学校が取るべき対応の理解、関係法規の認識、虐待への気付きが不十分だと感じている。虐待対応マニュアル等を校内で活用し、教職員の理解を深めたい。(学校関係者)
- ・具体的な会話などロールプレイング研修の大切さを感じた。(学校関係者)
- ・研修等を通して全教職員への周知を進めたり、関係機関と連携し体制づくりを改善したりするよう努める必要がある。各校での研修の実施を働きかけたい。(教育委員会職員)